

令和7年度 部局経営目標

年度	令和7年度	作成日	令和7年4月1日
部局名	湯原振興局	部局長名	佐山 宣夫
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
<p>・人口減少対策 各種健康福祉事業と空き家の有効活用事業の推進</p> <p>・湯原小、中学校の持続可能な教育環境づくり 学校運営協議会での義務教育学校制度の調査研究</p> <p>・管内公共施設の適正管理 温泉配湯施設、生活インフラ施設の適正管理</p>			
(2) 部局の重点施策			
1. 回る経済と脱炭素への挑戦	(1) 公共施設の使用料、利用料の適正見直し (2) 蒜山、勝山、美甘と連携した観光地域づくり (3) 中山間事業の継続取り組みの支援 (4) 小規模事業者、生業事業者の仕事づくり		
2. にぎわいにあふれ豊かさを実感できる真庭	(1) 移住定住策の継続支援 (2) 現有公共施設の利用促進 (居場所、健康増進、地域づくり、観光振興など)		
3. 安心して暮らし続けることができる真庭	(1) 温泉施設、ライフラインの適正管理 (2) 健康づくり、健康相談、各種福祉事業活動の継続支援		
4. 支え合い、いきいきと誰もが活躍できる真庭	(1) 地域住民の居場所、集いの場の確保継続		
5. 安心とつながりの中で人が育つまちづくり	(1) 義務教育学校制度の調査研究と移行推進 (2) 山中一揆300周年顕彰事業実施支援		
(3) 事業成果目標			指標名及び目標値
<p>●人口減少抑制対策：生むこと・育てることを支援 湯原地域の行事や集う機会が減少していることで子どもたちの居場所や多世代との交流の機会が失われています。安心して子育てできる環境を確保するためライフスタイルに合わせたイベント等を開催します。</p> ①子育て世代が集うイベントを開催 ②子ども食堂の開催 ③中学生・高校生などを中心としたつながりを創出			指標:①子育てイベント回数と総参加人数②こども食堂の開催数と総参加人数 目標値:①10回、120人②3回、45人 (令和6年度実績値:①11回、175人)

<p>1-① 蒜山・湯原・美甘と連携した観光地域づくり</p> <p>高速道路網で京阪神や中四国エリアからドライブで来れる距離感でありながら、認知度が低いため観光客の獲得が伸びていません。温泉やオオサンショウウオの生息など地域の価値を分かりやすく発信して認知度の向上に務め、選ばれる観光地になるため、地域一体となった取り組みを行います。また、旅行消費額増をめざして旅先納税を推進します。</p>	<p>指標:観光客入込客数</p> <p>目標値:13万人</p> <p>(令和6年度実績値:13万118人)</p>
<p>2-① 地域振興事業(社地区)</p> <p>社地域振興協議会が実施する社の歴史資源を活用した地域づくりを支援します。</p> <p>①歴史の伝承や景観維持のための勉強会の開催 ②グリーンスローモビリティを活用した歴史ガイドの実施 ③神戸の館を活用した都市部との交流イベントを開催し交流人口を創出する (田植え祭、収穫祭、秋祭りの神輿担ぎ、竹灯笼イベントなど)</p>	<p>指標:①交流人口数</p> <p>目標値:600人</p> <p>(令和6年度実績値:①勉強会1回・49人、②③イベント開催数3回・119人、歴史ガイド実施数31回、391人:計559人)</p>
<p>2-② 地域振興事業(二川地区)</p> <p>二川みらいづくりセンターを拠点とした住民主体による地域自治と交流イベントの実施、学校らしさを生かした取組による交流人口増の取組を支援します。</p> <p>①住民主体による企画イベントを実施し交流人口を増やす ②学校らしさを生かした子どもの居場所づくりやこども食堂を開催 ③地域住民の多世代交流や健康維持のための取組を広げ、施設の活用を促進</p>	<p>指標:施設利用者数</p> <p>目標値:5,500人</p> <p>(令和6年度実績値:施設利用者数5,244人)</p>
<p>2-③ 図書館の利活用促進</p> <p>湯原図書館が地域に愛され、市民や観光客が気軽に立ち寄ることができ地域交流の場になるよう、環境づくり、雰囲気づくりを行います。また、幼い頃から本に親しめるような親子向けのイベント実施やこどもの居場所を提供します。</p> <p>①こどもを対象とした催し物の開催(工作・読み聞かせ含む) ②各種団体と連携したイベントの開催</p>	<p>指標:①来館者数②図書貸出冊数</p> <p>目標値:①6,300人②9,500冊</p> <p>(令和6年度実績値:①来館者数6,290人、②図書貸出冊数9,039冊)</p>
<p>3-① 温泉施設の有効活用</p> <p>湯本温泉館、足温泉館、下湯原温泉(ひまわり館)との連携を図り、日帰り入浴の誘客につなげるとともに、関係団体と協力して温泉事業改善に向けた取組を進めます。</p> <p>①ターゲットを絞った広報 ②湯本温泉館テレワーク施設(Uffice)の利用促進 ③湯原温泉内の老朽化した温泉施設に関する各種団体との検討会議の開催</p>	<p>指標:単年度収益的収支比率(収益÷費用)</p> <p>目標値:①湯本温泉館78%②足温泉館95%</p> <p>(令和6年度実績値:①湯本温泉館68.7%、②足温泉館98.9%)</p>

<p>3-②健康づくりのための実践活動支援</p> <p>糖尿病予防や健康寿命の延伸を目的として、定期的に運動する機会を提供し、併せて地域が主体で継続的に取り組めるよう支援していきます。</p> <p>① 第7期まんぼジム ② 貯筋体操 ③ ユニバーサルスポーツ教室 ④ 愛育委員・食育推進ボランティアが関わる健康体操 ⑤ 住民が主体的に取り組む介護予防のための「集いの場」</p>	<p>指標:参加人数</p> <hr/> <p>目標値:700人</p> <hr/> <p>(令和6年度実績値:728人)</p>
<p>5-①安心とつながりの中で人が育つまちづくりについて</p> <p>湯原小・中学校の学習環境の維持発展に向けて、学校運営協議会を中心とした義務教育学校制度等の調査研究を行います。</p>	<p>指標:検討会開催数</p> <hr/> <p>目標値:6回</p> <hr/> <p>(令和6年度実績値:4回)</p>
<p>5-②山中一揆300年事業実施支援</p> <p>山中一揆が令和8年に300年を迎えるにあたり、それまでの2年については、歴史講座や資料集作成といった学術的事業と市民参加型の演劇上映といった芸術的事業を進めていくことで、重要な歴史事象を風化させないよう次の世代に引き継いでいきます。</p> <p>①歴史講座の開催及び講座の資料化 ②資料集の作成</p>	<p>指標:講座参加人数</p> <hr/> <p>目標値:660人</p>